

地形・地質

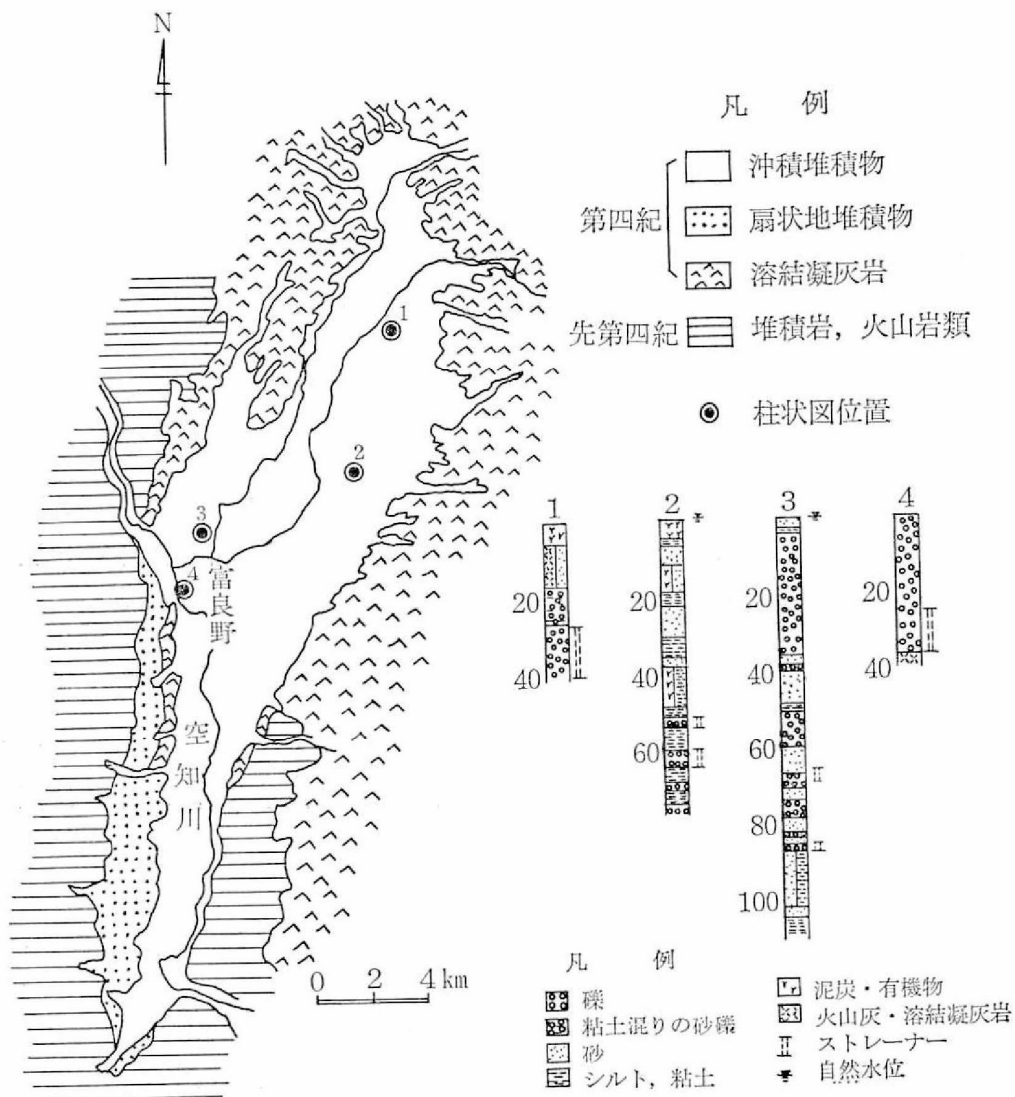
富良野盆地は上川盆地に隣接した盆地で、盆地の北部や東部は、主として十勝岳溶結凝灰岩よりなる丘陵や山地で、南部や南西部は先白亜紀の粘板岩よりなる山地です。盆地の南西縁には大規模な複合扇状地群が発達します。

富良野盆地の地層層序

時代	地層	岩相	
第四紀	完新世	現河床堆積物	砂礫, 砂
		湿地堆積物	泥炭, シルト, 粘土
		扇状地堆積物	砂礫
	更新世	溶結凝灰岩	
		中・下部更新統	礫, 砂, 粘土
先第四紀	先第四紀堆積岩類 先第四紀火成岩類		

地下水

帯水層は第四紀堆積物中の砂層および砂礫層です。盆地北部では広い自噴地下水帯を形成し、深井戸による農業用雑用水源としての利用が盛んです。盆地南部では自噴がみられないので、主として浅井戸による地下水利用が行われています。



富良野盆地の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）